

建通新聞

東京

総会

スーパージャリストの会

若手育成・技術 継承は「使命」

日本測量協会が認定する民間資格「空間情報総括監理技術者」で組織する「スーパージャリストの会」(早川和夫会長)は4日、設立20周年の記念総会を開いた。福岡市博多区をメイン会場として、オンラインを含めて全国7会場で開催。開会に当たり早川会長は「写真IIは、AI活用などで技術革新が加速化する中で

「空間情報技術者の重要性はさらに増している」と語り、「若手技術者を育て、次世代へ技術を継承していくことがわれわれの使命」と強調した。

スーパージャリストの会は、空間情報の専門技術者の知識共有と業界の発展を目的に2005年に設立された。スーパージャリストは、空間の形容詞「スペーシャル」と専門家「スペシャリスト」を組み合わせた造語。



早川会長は、これからの業界発展について「われわれの持つ専門性や可能性を自らが認識し、その価値を社会に広めることが不可欠だ」と述べた。

総会では、25年度事業計画や役員改選を報告。25年度には、最新技術に関する調査活動研究会や測量技術者の育成に向けた懇談会を開く。

総会後には、デジタルアーキテクチャ・デザインセンターの田嶋聡司氏による基調講演や、「空間情報の価値を再認識し、業界の未来を創造する」をテーマにパネルディスカッションが行われた。